

河川流量の増加はアユの成長に好影響を与える！

研究分野 漁場の環境を守る

ねらい

- 庄川などを初め多くの河川では人為的な理由によって漁場の流量が著しく少ない区間があり、漁業者の間ではアユ漁業へ悪影響を与えていると懸念されています。
- このため、本研究では人為的な理由で流量が少なくなった河川（区域）において、流量の増加がアユ資源に及ぼす影響の一つを明らかにしました。

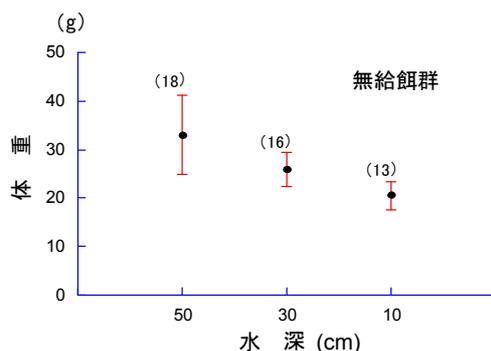
成果

- 庄川に遡上した海産アユを用いて行った水深別の育成試験では、面積当たりの密度や餌の投与の有無にかかわらず、水深 50cm で育成したアユは水深 30cm および 10cm で育成したアユよりも成長が有意に良くなりました。
- この結果は水深が深くなることによる体積当たりの生息密度の減少効果、餌の増加、およびストレスの軽減などにより生じたものと推定されました。
- 河川では流量が増えると平均水深も深くなります。これらのことは、庄川のようにアユ漁場の流量が人為的に著しく少なくなった河川（区域）では、夏季の間だけでも河川流量を増加すること、あるいは各所に水深の深い瀬を人工的に造成することができれば、成長の良いアユの漁獲尾数の増加につながり、アユ資源を有効に利用できることを示唆しています。

活用

国土交通省が主催する委員会や漁協が行う河川環境に関する勉強会・講習会などで本成果を発表してその改善策を提言し、河川環境の改善に役立ててもらっています。

（詳しくは日本水産増殖学会誌 50（3）号に掲載されています）



飼育池で水深別に育成（6～9月）したアユの成長。
（ ）はサンプル数。

研究実施期間 平成12年度～平成14年度
問い合わせ先 水産試験場（076-475-0036）